

強者の戦略

論述世界史〔2018年 京都大学 第3問〕

こんにちは、世界史の北林です。今回は京都大学の第1問を扱いました。オスマン帝国の問題でしたね。難しかったと感じた方は多かったのではないのでしょうか。多くの民族を抱える国の民族主義はなかなか理解するのも大変かと思います。

さて今回は一緒に出題されていた300字論述の第3問です。京都大学は東洋と西洋をバランス良く出題しますが、第3問・第4問は西洋史です。以下の問題にチャレンジしていただきたいのですが、第1問と違って比較的イメージがしやすい問題ではなかったかと思います。

【2018年度 京都大学 前期 第問】

中世ヨーロッパの十字軍運動は200年近くにわたって続けられた。その間、その性格はどのように変化したのか、また、十字軍運動は中世ヨーロッパの政治・宗教・経済にどのような影響を及ぼしたのか、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ

教科書や用語集などをじっくり見ながら結構ですので、文章作成前に、構想をまとめたメモを作ってみましょう。